



ザンビアの経済概況・月報(2016年4月)

主なマクロ経済指標	2015年	2016年
1. 人口 (百万人)	15.72(2014)	-
2. 人口増加率 (%)	3.15 (2014)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	27,070(2014)	-
6. GDP成長率 (%)	3.5(proj)	3.8(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,680(2014)	-
8. インフレ率 (%)	10.1	21.8(Apr)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	155.82	182.24(Apr)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-540	-152.98*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-26.90*4	-5.19*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	7,097.00	1543.86*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	46.34*4	5.10*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	7,637.00	1696.84*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	73.24*4	10.29*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-360 (2014)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-213 (2014)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	2,484(2014)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,968	2,372(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,373(2014)	-
21. 為替レート (対米ドル)	10.98ZMW(end-period)	9.74ZMW(Apr)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	15.50 (Dec, 2015)

※() 内の年月は、その年あるいは月の確定値／予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

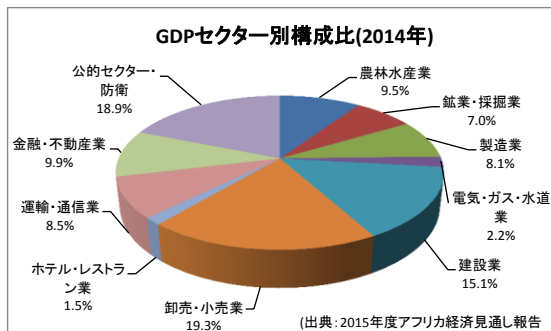
*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2016年1月から3月までの累計額。1USD=11.27ZMW(2016年3月までのザンビア中央銀行為替相場月間平均)を用いて換算
*3	2016年1月から3月までの累計額。1USD=121円(2016年3月までの日銀基準外為替相場月間平均)を用いて換算
	<2016年3月>
	主要輸出品目: 銅/ボイラー用補助機器/電話機
	主要貿易相手国(輸出): スイス 32.0%, 中国 18.9%, タンザニア 8.1%, 英国 7.2%, アラブ首長国連邦 6.4%, その他 27.4%
	主要輸入品目: (水)酸化コバルト/原油/電話機
	主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 34.9%, コンゴ(民) 14.6%, 中国 8.8%, モーリシャス 7.2%, インド 4.1%, その他 30.5%
*4	1USD=121円(2015年(平均値)の日銀基準外為替相場)を用いて換算
<出典> 1, 2, 5-7, 8(2015), 20(2015): World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8(2016), 9, 10(2016), 12(2016), 14(2016): Monthly Bulletin (CSO) / 10(2015), 12(2015), 14(2015), 19, 21(2015): Country Report 2016 (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21(2016), 22: Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
坑内掘りに6%, 露天掘りに9%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により, 0 - 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(4月)

1. “モーリシャス系企業、インターコンチネンタルを買収” (Daily Mail, 13日)

クアンタム・グローバル(QG)グループは、総額3,590万米ドルで、インターコンチネンタルルサカを買収した。同グループ創設者であるジャン・クロード・バストス・デ・モライス氏は、同買収がQGアフリカホテルの最初の買収となった点を喜ばしいと述べたうえで、インターコンチネンタルルサカが国内で確固たる地位を築いており、改装計画から様々な恩恵を享受するであろう旨発言した。

2. “ザンビアクワチャ、銅が金よりも光り輝けることを示す” (ブルームバーグ電子版, 15日)

ザンビアクワチャは、2015年に世界で3番目(42%下落)に下落した通貨であったが、2016年初頭以来、米ドルに対して19.9%上昇し、ブルームバーグが調査している金・銀・銅の金属類及び世界150ヶ国の通貨の中で最も価値を上げた通貨となった。ブリックマンETMアナリティクス社アフリカエコノミストは、12日付レポートにて、クワチャは銅価格に応じて引き続き推移すると指摘したうえで、銅価格が回復すれば、さらなるクワチャ高となる旨発言した。マンデミカ・ランドマーチャント銀行アフリカストラテジストは、クワチャ高が短期的には継続するとみられる一方で、電力不足及び干ばつなどの経済ファンダメンタルが未だに大きな脅威である旨発言した。

3. “ザンビア政府、銅山使用税率の更なる低下を熟考” (Daily Nation, 18日)

鉱物鉱山開発法(The Mines and Minerals Development (Amendment) Bill)の改正法案が、国民議会にて審議される予定となっている。ロイター社の報告によると、銅の鉱山使用税率については、(1)銅の国際価格が1トンあたり4,500米ドル以下の場合、4%の鉱山使用税率(2)銅の国際価格が1トンあたり4,500米ドルから6,000米ドルの場合、5%の鉱山使用税率(3)銅の国際価格が1トンあたり6,000米ドル以上の場合、6%の鉱山使用税率が設定される旨同法案にて提案されている。

4. “ムーディーズ社、ザンビア経済を格下げ” (Post, 21日)

格付会社ムーディーズ社は、8月の総選挙の準備に向けた拠出がより不確実となっている点を背景として、ザンビアの信用格付を「B2」から「B3」へ、経済見通しについても「安定的(stable)」から「消極的(negative)」へ引き下げた。ムーディーズ社は、歳出抑制策が講じられなければ、2016年の財政赤字がGDP比7%もしくはそれ以上の水準に達すると予測している。

5. “ザンビア政府及びIMF、IMF支援プログラムに同意” (Times etc. 23日)

ヤンバ財務官は、ザンビア政府及びIMFが2016年世銀IMF春季総会(於: ワシントンDC)にて、2016年第4四半期までにIMFプログラムを開始出来るよう、複数の重要な取組を講じることに同意した旨明らかにした。同財務官は、ステートメントにて、IMFがザンビア政府とともに、IMFプログラム導入のための調整を全て加味した2017年政府予算を最終決定すべく、本年9月に調査団を派遣する旨発言した。また、同財務官は、その後、10月または11月に支援プログラムに向けた議論が実施され、12月中旬頃にIMF理事会にて支援プログラムについて議論される見通しである旨発言した。

6. “投資家、エネルギーセクターへの投資機会を狙う” (Daily Nation, 24日)

チサンガ・ザンビア開発庁(ZDA)長官は、ザンビア国際フォーラム(ZIIF)にて、多くの投資家が再生可能クリーンエネルギーへの投資機会に関心を示しており、ザンビア政府が増大する電力需要を満たすうえでそうした機会を活用出来る旨発言した。

7. “ザンビア財政、12.5億クワチャの赤字” (Post, 25日)

3月現在のザンビアの財政は、10億クワチャ超の財政赤字を記録した。24日、カンデタ財務省広報担当官は記者会見にて、3月現在までの歳出が81億クワチャを記録した一方で、同期間の歳入が68.7億クワチャにとどまった旨発言した。同担当官は、燃料補助金(12億クワチャ)及び電気料金の補助金(2,853万クワチャ)の支払いが多くの開発プログラムの拠出を大きく妨げていると述べたうえで、こうした拠出はザンビア経済が機能し、かつ生産的であることを確実にする上で重要である旨発言した。

8. “3か国大統領、食糧安全保障に取り組む” (Daily Mail, 26日)

25日、ルング大統領は、マラウイのムタリカ大統領、モザンビークのニシニ大統領と合計5時間にわたり会談し、ザンビアの隣国が影響を受けている食糧安全保障を含む各方面の議題につき協議した。ルング大統領は、本会合がSADC地域の経済関係の強化に資する旨述べた。また、ムタリカ・マラウイ大統領は、120万トンのメイズを輸入する用意がある旨述べ、ニシニ・モザンビーク大統領も、同国が隣国との共通案件に引き続きコミットしている旨発言した。

9. “ザンビア政府、農業国際会議を主催” (Daily Mail, 27日)

100ヶ国以上の代表が、5月4日にザンビア政府が主催する第6回世界農業者機構(WFO)年次総会(於: リビングストン)に出席する予定である。同総会は、農業における持続可能な開発を達成すべく、異なるステークホルダーの役割について議論・促進するプラットフォームとして機能することが期待されている。